28 年度事務事業評価表(一般用) 050100 2998-9211 事業コード 当 文化芸術振興課 文化芸術活動支援補助事業 050118 部 課 <mark>グル-プ</mark> 文化支援 開始年度 平成 5 年度 終了年度 平成 年度 自治事務 法定受託事務 法定受託+附加 事業の種別 根拠法令 第4次所沢市生涯学習推進計画 分野別計画·指針 事 文化芸術振興基本法 関連·類似事業 文化団体援助事業 丵 其太 総合計画の体系 教育・文化・スポーツ 市民文化 個性あふれる文化の創造 方針 മ 栶 平成5年の所沢市民文化センター「ミューズ」の開設にともない、市が支援している事業で「ミューズ」を利用する場合の負担軽減とミューズの利 事業開始の背景 用促進を図り、文化振興を目的に、利用料補助金を該当事業の主催団体に交付することになった。 要 目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 市が支援する所沢市文化祭等の市民文化事業に対し、「ミューズ」の利用料の一部を補助し、「ミューズ」を利用した市民の芸術・文化活動の活性化を促す。 対象(誰を、何を対象としているのか) 平成 26 年度 342,564 人 車 対象数 単位 市民 平成 27 年度 343.067 人 業 事業の具体的な内容及び実施方法  $\sigma$ 内 「市民により組織され文化事業を実施する実行委員会」または団体等が主催し、参加及び鑑賞の機会が広く市民に開かれるなど公共性が高く、市が支援してい る、市民の文化振興に寄与する事業が対象であり、事前の充分な相談・打ち合わせの上、申請を受ける。 容 今までの実績や事業の内容に応じて、「ミューズ」の施設利用料及び付属設備利用料、施設の技術者等の経費の一部または全額を交付する。 平成 (千円) 平成 年度 平成 年度 (千円) 会計種別 一般会計 26 27 年度 (千円) 28 予算現額 3,245 3,084 3,031 3,005 2,844 算 (見込み含む) (非常勤特別職員) (臨時的任用職員 人) 人) 財源内訳」について 平成28年度のみ、当初予算 1.819 正規職員人件費 0.10 人 872 0.21 の内訳となっています 事業費合計 3,877 4,663 -般財源 3,877 4,663 3,031 国·県支出金 0 内 その他 訳 H 27 H 26 H28見込み 将来目標 項目名 項目説明 単位 ミューズを利用した事業(催し物)で補助 補助事業(催し物)数 事業 16 15 16 16 を行った件数 活動実績 項目名 項目説明 単位 H 26 H 27 H28目標値 将来目標 目標値 30.000 30,000 30,000 30.000 事業参加者数+観客入場 出演者数 + 出品者数 + 観客入場者数 成果指標 ьt 実績」 実績 28,553 🗸 美線」 🗆 美線」 拡大図る 🗆 縮小図る 実 績 25,799 果 目標達成状況 どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています 達成率 86 チェックしてください (2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析 (1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください) 各団体の主体性を尊重しつつ自助努力を促進した。 ミューズを利用した事業数が減少したため、昨年より少ない人数となった。 占 □ 拡大 □ 縮小 **~** 継続 事業実施方法 事業実績の精査を進めるとともに、本市文化向上のために今後も趣向を凝ら 理由 改善· 現状 しながら継続して実施していく。 (複数選択可) ☑ <sup>块</sup>か 維持 その 終了 方今 **✓** 効率化 向後 価 性の 現状 ミューズ利用料の負担軽減の面では依然として必要な補助制度と考えられる 評 次年度予算 □ 拡大 □ 縮小 ☑ 理由 ため。 (2)今後の方向性 (1)平成28年度に取り組んでいる状況 利用促進という面ではある程度目的を達成しており、対象となる事業も所沢 市文化祭、「所沢で第九を」演奏会、吹奏楽祭など、全市的規模で様々な年 齢層による広範な参加者のある公共性の高い事業である。 市民の交流や本 「ミューズ」を利用し、市が支援している公共性が高い文化振興事業に対し、事前の相 価 談・打ち合わせの上、補助金の申請を受け付け、経費の一部を補助金として支出し、 本市文化向上を図っている。 市文化向上のために、ミューズ利用料の負担軽減の面では依然として必要 な補助制度と考えられる。 評価日 H28.8.16 評価者職氏名 文化芸術振興課長 吉田 謙治 規制を受ける環境法令等 無 有益な 有害な環境影響 資料の作成 環境影響 を及ぼす原因活動 無 **緊急**事能